投　稿　規　程

1. 本誌には金沢医科大学医学会正会員の総説，原著，症例報告および短報を掲載するが，正会員以外でも編集委員会の承認があれば掲載することができる。そのほか学会抄録，雑報，本学学位論文の審査要旨を掲載することがある。
2. **倫理規定**：投稿論文は基礎研究，臨床研究のいずれにおいても生命倫理に十分な配慮がなされたものであること。また，個人情報の保護のために必要な処置を講じたものでなければならない。
   1) ヒトを対象とする研究はヘルシンキ宣言の理念を踏まえ，「臨床研究法」「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および金沢医科大学等の人を対象とする医学系研究に関する規定を遵守し，金沢医科大学等の各倫理審査委員会の承認を得た上で実施した旨を明記すること。特に，「患者の権利，プライバシーの保護」に努め，論文作成に際して，下記の指針を遵守すること。
      a. 患者個人の特定が可能となる氏名やイニシャル，住所，カルテ番号，入院番号等は記載しない。
      b. 患者の職業や紹介先施設名・診療科名などについても，患者個人が特定される可能性のある場合は記載しない。
      c. 日付は，患者個人を特定できないと判断される場合でも，年月までの記載とする。
      d. 顔写真を掲載する場合は，患者個人を特定できぬよう目隠しを付す。
      e. 以上の配慮をしても患者個人が特定される場合は，論文内容を提示したうえで，患者本人（または遺族か代理人，小児では保護者）から発表に関する同意を得ること（同意書のコピーは投稿時に添付すること）。
   2) 動物実験は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省）」もしくは「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」の規定を遵守し，金沢医科大学等の動物実験委員会の承認を得た上で実施した旨を明記すること。遺伝子組換え動物実験においては，金沢医科大学等の組換えDNA実験安全委員会の承認を得た上で実施した旨を明記すること。
   3) 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例の報告では，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および金沢医科大学等のヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規定を遵守し，金沢医科大学等の倫理審査委員会の承認を得た上で実施した旨を明記すること。
   4) 遺伝子治療臨床研究に関しては，「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」の規定を遵守すること。
   5) その他，国が告示した倫理指針に該当する研究は，各指針にそれぞれ合致している旨を明記すること。
3. **原稿様式**：原稿は英文または和文とし，標題，要約，キーワード，ランニングタイトル，本文，図，表，文献を基本とする（本文が和文の場合のみ，英文抄録が必要）。また原稿は，A4版用紙にMicrosoft Wordで作成した文書ファイルまたはPDFとし，図表はMicrosoft Word，Microsoft Excel，Microsoft PowerPoint等で作成したファイルとする。図・写真は300dpi以上の解像度で作成されたJPEG，TIFFおよびPNG形式のファイルでも受け付ける。原稿は，文字サイズ11ポイント，英文は1ページ当たり20行で300語程度，和文は40字×20行を目安に作成すること。また用紙の上下左右は十分にあけ，用紙の下余白にページ番号を付記すること。原稿の長さは原則として，本文，図，表を合わせて30枚（和文20,000字，英文8,000語）以内とすること。本文が英文の場合は半角入力とし，和文の場合は横書き，ひらがな，現代かなづかいとし，原則として当用漢字を使用する。和文中の外国語（薬物一般名等）はすべて英語綴りの小文字とし，文頭・人名・固有名詞・動植物学名・ドイツ語名詞・商品名・製品名は大文字ではじめる。
4. **標題**：原稿第1頁に標題，著者名，所属の順で記入し，掲載希望区分を左肩に記入する。連絡著者名の右肩にアスタリスク（*）を付し，連絡先として，連絡著者の所属機関・氏名・住所およびE-mailアドレス等を記載する。
5. **要約**：本文が英文の場合は300語以内，和文の場合は600字以内の要約をつける。論文の概要が具体的にわかるように，目的・対象と方法・結果・結論，または背景・症例・所見・結論などに分けて記載する。
6. **キーワード**：5個以内のキーワードをつけること。
7. **ランニングタイトル**：本文が英文の場合は英文（半角80字以内），和文の場合は和文（全角40字以内）のランニングタイトルを記入すること。
8. **本文**：実験研究は，緒言（はじめに），実験方法，結果（成績），考察（考按）に区分する。臨床報告は，緒言（はじめに），症例，考察（考按）に区分する。金沢医科大学等の倫理審査委員会の承認を得た研究である場合は，本文中にその旨を明記すること。倫理規定を逸脱していると編集委員会が判断したものについては，査読の結果にかかわらず不採択とすることがある。和文の場合，外国の人名，地名，物質名などは原則として外国語そのままを用いる。ただし，慣用の和名がある場合はカタカナで書く。適当な日本語訳のない用語は原綴を用いる。動植物，微生物などの学名はイタリック体で記載する。薬品名は原則として日本語の一般名を用いる。特殊な，あるいは特定分野のみで用いられている単位，符号，略語ならびに表現には必ず簡単な説明を加える。数字は原則としてアラビア数字を使用するが，「十数回」，「百分率」などの場合は例外とする。度量衡の記載は原則としてメートル法による。本文中に見出し符号を付す場合は，1，1)，(1)，i）の順に付すこと。ただし，緒言，実験方法等の論文構成の各項目には付けないこととする。しばしば繰り返される語は略語を用いてもよいが，初出の際は完全な用語を用い，以下に略語を使用することを明記する。統計処理を行った際には統計学的検定法を明記する。
9. **利益相反（conflict of interest）の開示**：投稿論文の内容に関する利益相反の有無を筆頭著者，共著者全員について論文の末尾に明記すること。またすべての著者は本誌所定の利益相反自己申告書を別途添付すること。
10. **文献**：本文中の文献引用は，引用順に一連番号を本文と同行に（1），（1-3），（1，3-5）などと記し，肩付とはしない。文献欄の記載は，下記の要領により番号順に配列する。
    1) 雑誌の場合は著者名（筆頭著者から3名までとし，3名をこす場合は「ほか」または「et al」と記載する），標題，掲載誌名（略名），発行年（西暦），巻数，頁数（開始頁-終了頁）の順に記載する。
       - Johnstone BM, Taylor KJ, Boyle AJ: Mechanics of the Guinea pig cochlea. J Acoust Soc Am 1970; 47: 504-8.
       - Ferguson B, Matyszak MK, Esiri MM et al: Axonal damage in acute multiple sclerosis. Brain 1997; 120: 393-9.
       - 柴田整一，三村信英，木村二郎ほか：進行しない所謂“慢性腎炎”．日腎誌 1962; 4: 31-7.
    2) 単行本の場合は著者名，標題，編集者名，書名，版数，発行所所在地，発行所，発行年，頁数（開始頁-終了頁）の順とする。
       - Mostofi FK: Benign hyperplasia of the prostate gland. In Campbell MF, Harrison JH (Eds), Urology (3rd ed), Philadelphia, WB Saunders, 1970; 1065-129.
       - 丸野義和：体液平衡異常と腎臓，東京，南江堂，1970; 75-7.
       - 河野祐治，吉良潤一：HIV-1と免疫変化概説．杉田秀夫，田平武（編），HIV-1感染による神経障害の診療マニュアル，東京，新興医学出版社，1997; 118-37.
    3) インターネット上の資料や情報を引用する場合，URLとアクセスした年月日を記載する。
       - 厚生労働省：がん対策推進基本計画，http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/gan_keikaku02.pdf（2016年7月1日にアクセス）．
    4) 著者名が人名でないときは次のようにする。
       - 日本病理学会編：日本病理剖検輯報，14輯，東京，日本病理剖検輯報刊行会，1972.
    5) 引用雑誌の略名は，MEDLINEまたはIndex Medicusおよび医学中央雑誌収載誌目録によること。
    6) オンラインジャーナル（Epubのみ）および早期公開（Epub on ahead）の場合，電子出版（Epub）年月日やDOIがあれば掲載する。
    7) 原則として，特殊な報告書，投稿中原稿，私信などで一般的に入手不可能な資料は文献としての引用を差し控えること。
11. **図**：出来上がり寸法は横幅8㎝にするか，17㎝にするかを指定のこと。
12. **表**：原則として本文が英文の場合は英文，和文の場合は和文（ただし，和文で表現し難い語句および字句は例外とする）にて作成する。
13. **図の説明**：原則として本文が英文の場合は英文，和文の場合は和文にて別紙に一括する。
14. **英文抄録**：本文が和文の場合は，英文の標題，氏名，所属，要約（総説・原著の場合は400語以内，症例報告・短報の場合は200語以内），キーワード，連絡先を記載する。
15. 原稿の採否および掲載の順序は編集委員会で決定する。
16. 原稿の校正は初校・再校とも著者校正とし，校正時の大幅な変更は許されない。また校正期日は厳守のこと。
17. 投稿論文内容は他誌に発表されていないものに限る。また投稿論文の二重投稿や同時投稿は認めない。ただし，本誌掲載和文論文の他誌への英文化再掲載（secondary publication）等については編集委員会が特に認めた場合はこの限りではない。
18. 掲載費のうち，総説では組上がり10頁まで，原著では8頁まで，症例報告・短報では5頁までを無料とする。超過分および別冊はすべて著者の負担とするが，依頼原稿の超過分は無料とする。なお，原稿にカラー写真等のある場合，版代は著者の負担とする。
19. **原稿提出**：紙原稿1部，原稿の電子データ，投稿申込書，チェックリスト，誓約書，利益相反自己申告書を下記あてに提出する。論文が受理されたときは，最終版の電子データ（図表，写真含む）を提出すること。
20. 本誌に掲載された著作物の著作権は，本医学会に帰属する。

＜連絡先＞〒920-0293　石川県河北郡内灘町大学1－1
金沢医科大学内　金沢医科大学雑誌編集委員会
TEL．076-286-2211（内線7242）
E-mail: hrc-jimu@kanazawa-med.ac.jp

この規定は1979年 1月一部改正した。 この規定は1985年 5月一部改正した。
この規定は1986年11月一部改正した。 この規定は1988年 2月一部改正した。
この規定は1989年 9月一部改正した。 この規定は1995年 2月一部改正した。
この規定は1997年 2月一部改正した。 この規定は2000年 3月一部改正した。
この規定は2003年 3月一部改正した。 この規定は2013年 4月一部改正した。
この規定は2020年 2月一部改正した。 この規程は2022年 3月一部改正した。
以上

Presented by Medical*Online